

各 位

上場会社名	株式会社 太平製作所
代表者	代表取締役社長 齊藤 武
(コード番号)	6342)
問合せ先責任者	取締役総務部長 尾関 修康
(TEL)	0568-73-6411)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,490	90	145	102	73.01
今回修正予想(B)	2,808	229	249	156	112.27
増減額(B-A)	318	139	104	54	
増減率(%)	12.8	155.2	71.7	53.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	2,066	△122	△69	△85	△62.14

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,050	175	260	185	132.42
今回修正予想(B)	6,700	579	600	385	275.58
増減額(B-A)	1,650	404	340	200	
増減率(%)	32.7	230.9	130.8	108.1	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	4,938	185	282	223	161.08

修正の理由

第2四半期累計期間の業績予想につきましては、合板機械事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響で据付時期が未定となっていた海外の一部案件について、据付工事が進み検収されたことから売上が増加しました。また、部品の納期遅れや原材料等の価格上昇が懸念されておりましたが、生産計画の見直しや部品を先行手配するなど工程管理を徹底したことから、予想範囲内の影響に抑えることが出来ました。木工機械事業においては、昨年のウッドショック以降、木工業界の景況感に改善が見られるなど設備投資意欲も上向いており、コスト上昇による販売価格への転嫁を進められました。これらの結果、売上・利益ともに前回発表予想を上回る見込みです。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績が予想を上回る見通しであることに加え、合板機械事業において大型案件の受注が見込まれるため売上・利益ともに前回発表予想を上回る見込みです。

(注)この予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、新型コロナウイルス感染症の再拡大や、調達部材の長納期化、価格上昇の状況など、今後の様々な要因により大きく変動する可能性があります。

以上